

令和6年度 梅の里小学校スクールプラン

学校教育目標

自ら学び ともに たくましく生きる子の育成

めざす学校像

児童にとって
通うのが楽しみな学校
家庭にとって
通わせたい学校
教職員にとって
教育目標に向かって、全教職員が協働して創る学校

めざす児童像

すすんで考え **う**ごく子
めあてにむかって **の**びる子
人やふるさとと つながる子

めざす教職員像

- ワークライフバランスの充実を図り、笑顔で児童に接する教職員
- 自らの研鑽を積み、互いに学び合う教職員
- 児童や保護者に寄り添う教職員

重点目標

【人やふるさととつながる子】

◎自分らしさを大切に、人と触れ合う活動を通して、自己効力感を育む

【すすんで考えうごく子】

◎主体的に学びや活動に向かう子供たちを育む

【めあてに向かったのびる子】

◎めあてに向かって取り組む活動を通してたくましい心と体を育む

具体的取組

- お互いのよさを認め、それを伝える学校・学級づくり
- ふるさと・自然・人・ものと触れ合う活動の充実
- SDGsに関する取組
- 家庭・地域と連携した学校づくり
- 外部機関の適切な協力を得た気がかりな児童への対応の充実

- 「梅の里スタイル」を意識した学び合いの授業づくり
- 子ども同士がつながる場の工夫（学習環境・形態・DXの推進）
- ふるさと班活動、児童会活動の取組の工夫

- 自分の健康について考え、維持するための取組（生活リズムチェック、目の体操）
- 目標をもった業間活動（体力向上）の取組

数値目標

- 友だちのよさを見つけそれを伝えることができる児童 85%以上
- みんなで何かをすることが楽しい児童 90%以上
- 地域の学習や体験活動を通して地域や社会への関心が高まった児童 85%以上
- 地域に関する積極的な体験活動の取組をした教師 90%以上
- 学校の活動や取組がよくわかると答える保護者 90%以上
- 不登校児童 0人

- 授業のめあてを意識し、進んで学習できる児童 85%以上
- 対話で自分の考えや思いを伝えることが楽しい児童 85%以上
- 既習事項を活用できるような環境づくりを心がけた教師 90%
- ふるさと班活動が楽しい児童 90%以上（1～3年）
- みんなが気持ちよく生活できるように児童会活動に取り組む児童 90%以上（4～6年）

- 早寝・早起き・朝ごはんを心がけることができた児童 85%以上
- 目の健康管理について目標を決めて取り組む児童 85%以上
- 業間活動（体力向上）の取組で、自分の立てた目標を達成した児童 85%以上

<業務改善のための取組> ・学校 DX の推進 ・勤務時間シフト制の有効活用